

ウィットメイトとは

ウィットメイト (Witmate) はより広い分野で使えるピュア **JAVA** のロジック・エンジンである。

ウィットメイトはルールマッチングだけではなく、どんなアプリケーション・ロジックでも運用できるように設計されたエンジンである。

ウィットメイトの最先端アーキテクチャは、携帯環境から複雑な企業システムまでいろいろな応用をサポートする。

どう使うの

ウィットメイトはより複雑、より早く変えるビジネスルールを、携帯から企業システムまでの環境に、アプリケーションコードと分離し、管理するツールである。

この上、ロジック・エンジンとして、ウィットメイトは、プログラマたちとアプリケーション分野の専門家たちとスムーズで協同作業のため、プログラマが使いやすい、標準ベースの開発インタフェースと専門家が使いやすいロジック記述言語を提供する。この機能を利用して、プログラマと専門家は別々自分の専門領域に集中できるので、システムの開発が効率良く進める。

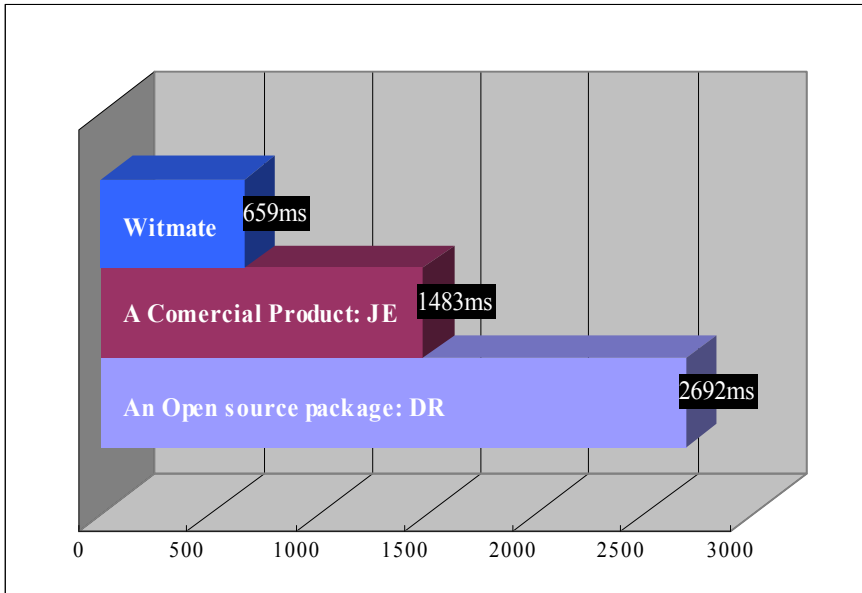
一例として、以下のようなアプリケーション分野にウィットメイトを利用される：

- A) ビジネスルール・エンジン (Business rule engine) : ビジネスルールを企業システム環境に、マッチングするツール。
- B) 携帯用ロジック・エンジン: アプリケーション・ロジックを携帯環境に、運用するツール。
- C) ロジック管理: アプリケーションのコードと独立して、ロジックを作成、修正、更新及び、システムの間で交換するツール。
- D) ロジック同報システム: ロジックを集中管理する上、大量のサーバ、PC 及び携帯端末に、効率良く同報するシステム。

ウィットメイトの強み

- 携帯から企業システムまで、幅広い環境に運用できること。J2ME から J2SE/EE まで実行できる上に、JSR94 及び SOAP インタフェースを提供し、スムーズで J2SE/J2EE 上のビジネスシステムと連携できる。OSGi Bundles を提供する。
- 違う目的、環境或いは使い方に対して、ロジックは三つのフォーマットで記述できること。フォーマット間の転換ツールも提供する。三つのフォーマットは：
 - 簡単ロジック言語 (Simple Logic language) (SL): 人が読みやすいロジック記述言語である。何の分野の専門家でも簡単に入手できるので、スムーズでプログラマと連携して、アプリケーションの開発を進める。
 - 簡単ロジック・マーク付け言語 (Simple Logic Markup Language) (SLML): XML をベースにする言語である。このフォーマットはロジックをサーバ及び企業システムの間で自動作成と交換することに最適なフォーマットである。たとえば、ウェブサービス或は SOA ベースのシステムにのロジックを作成、交換することなどである。
 - ウィット・ストリーム (WitStream) (WS): とてもコンパクトなテキストベースのフォーマットである。WS は無線・携帯ネットワーク、インターネット及び遅い回線でのロジック転送を可能にする。WS のパーサーが軽いので、携帯端末などのデバイスでも高速実行できる。企業システムにも、WS と軽いパーサーは、ロジックを低いコストで効率良く保存、回復する最適な手段である。
- 高性能 / 低コスト / 管理的なマルチスレッド・サポート

8 ~ 16 倍良くの性能対コスト比



2 ~ 4 倍の速さ

(実用なルールセットを、P4 の PC の上に、100 回ロードとマッチングした結果。GC なし)

1/4 のメモリ使用量

(実用なルールセットを、P4 の PC の上に、100 回ロードとマッチングした結果。GC なし)

